



☆ あけましておめでとございます。今までは違っそれぞれのお正月を過されたかと思ひます。大みそかに感染者数が大台を超えて、危機を訴えるべき時に、テレビは正月番組花盛り。愚かといわれても、我々は緊張感を長く維持できない生き物なのでしょう。はやりのSDGsと同じように持続可能な感染対策が我々には必要です。

☆ 世界の感染の傾向・・・WHOの統計から、感染者数死者数ともに、世界では減少の兆しが見えてきています。ロックダウンを含めた大きな犠牲を払いながら。その中で日本ではアフリカと同じようにいよいよ増加傾向。為政者がリーダーシップを発揮せず、まともな対策をとっていないからでもありましょう。感染が下火になっていた時にすべきことがいっぱいあったはずです。今週末には緊急事態宣言が発令されるといわれていますがその有効性は未知です。いまは第三波といわれていますがこのままでは第四波、第五波が来ないはずはない。ワクチンこそが希望の光ですが、その光はろうそくの炎のように不確かです。時間もかかるでしょう。

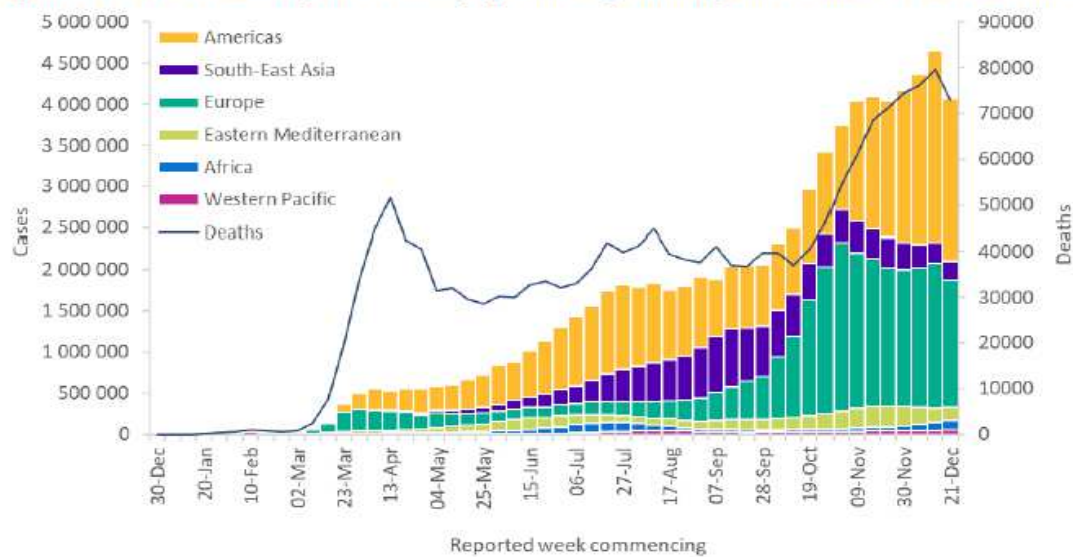
☆ ワクチンが使えるようになったら・・・ワクチンの接種が2月にも始まるかもしれません。

- ▼ 優秀なワクチンで強い免疫が半年以上得られる。
- ▼ 大量かつ広範なワクチン接種を速やかに遂行する体制ができる。
- ▼ 多くの市民がワクチン接種に参加する。

この3つの条件を夏の前に果たせば、人類はコロナに打ち勝つことも夢ではないでしょう。間に合うでしょうか？ワクチンの性能は良さそうです。桑名医師会にはワクチン接種体制整備をす

でに開始しています。どんなワクチンにもリスクはあります。そのリスクを打つ方も打たれる方もよく理解して、できる限りたくさんの方が受けてください。一方で、ワクチンの効果を証明するためにも、検査体制の充実は必須ではな

Figure 1: COVID-19 cases reported weekly by WHO Region, and global deaths, as of 27 December 2020**



いかと思われまます。抗体を持った場合感染性が低いとなれば、血液で容易にできる抗体検査が利用できます。そうなれば特別な検査体制は不要でしょう。ただウイルス疾患は、抗体があっても再感染、再発症する例は多くあり、感染拡大防止にはPCR検査は必要です。

☆ ワクチンにかかわらず予防は必要です。新しい生活様式は変わりません。三密は避けるべき、ソーシャルディスタンスは守るべき、マスクも欠

かせません。今、避けられている会食や宴会、会議、スポーツ観戦、コンサート、合唱の練習、我々が楽しいと思っていることのすべてを奪っていったコロナウイルスから、いかにそれらを取り戻すのかをもっと考えなければいけないのではないのでしょうか。マスクをつけながらの食事がおいしいとは思えません。強力な換気扇の回っている焼肉屋なら、ウイルスも向かいに側にはそんなにいかないでしょう。そこにヒントはないでしょうか、休業や時短要請も必要な時はあるでしょうが、それでは経済は回るわけはないし、公的資金も底をついているはずで、持続可能な感染対策、経営が成り立つ感染対策を作り出すために知恵を絞りましょう。

☆ 体調が悪い時は早めに検査を受けましょう。PCR検査が身近になってきました。流行の初期には体調の悪い方に自宅での待機をお願いしていましたが、終わりです。コロナウイルス診断にはPCR検査が必須です。遺伝子を増幅して検出するので試験管上では感度はすこぶる高いのですが、検体採取などの要因もありますので、現実の感度は7割ぐらいといわれます。それでも3回繰り返せば97%ぐらいの感度になります。中国では入国者にPCR検査と血液による抗体検査の2つの検査での陰性を要求しています。これによって感染者を見逃す可能性は1割以下に減らせるでしょう。網の目から逃れるものは常に少数いるのですが、少数であれば、今までの医療体制で対処ができるでしょう。日本では抗体検査は保険外診療となります。いまだに体調が悪い時には自宅待機で2週間会社に行くなどという指導が残っているように思えますが、そんなことを続けたら経済は破綻します。とにかくも怪しければPCR検査でコロナウイルスの陰性を証明したうえで早期社会復帰。感染拡大を防ぎつつ経済を回しましょう。検査を受けるには当院を含めかかりつけの診療所で症状をしっかりと伝えることです。

☆ 発熱外来・・・昨年末、発熱者に対する厚労省の方針が変更され、保健所ではなく一般診療所で

医院からのお願い

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 自宅で検温してください。発熱があればあらかじめ連絡をください!
- ★ 入り口で検温・指消毒・マスクをお願いしています。発熱者は車内待機や発熱外来をお願いすることがあります
- ★ 無症状者のPCR検査はWEBで受け付けています

- ★ インフルエンザワクチン残部僅少
 - ★ 今年こそコロナに打ち勝つぞ!
- 診察が推奨されています。当院も南の職員駐車場が発熱外来を始めましたが、新年に少し拡充しました。2つのテントでレッドゾーンとイエローゾーンのゾーニングを行い、できる限り一般の方との接触を避けるようにします。発熱のあるかた・感冒症状のあるかたなどは検査を積極的に受けてください。コロナウイルス感染者との接触がある有症状者の方には保険診療で検査はこなわれます。無症状の方は保険外診療となります。



の

コロナニュース ⑭ 二十二年一月五日発行
編集・文責 村松正俊

